

漁海況速報

6-No. 43

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和7年1月24日～1月30日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

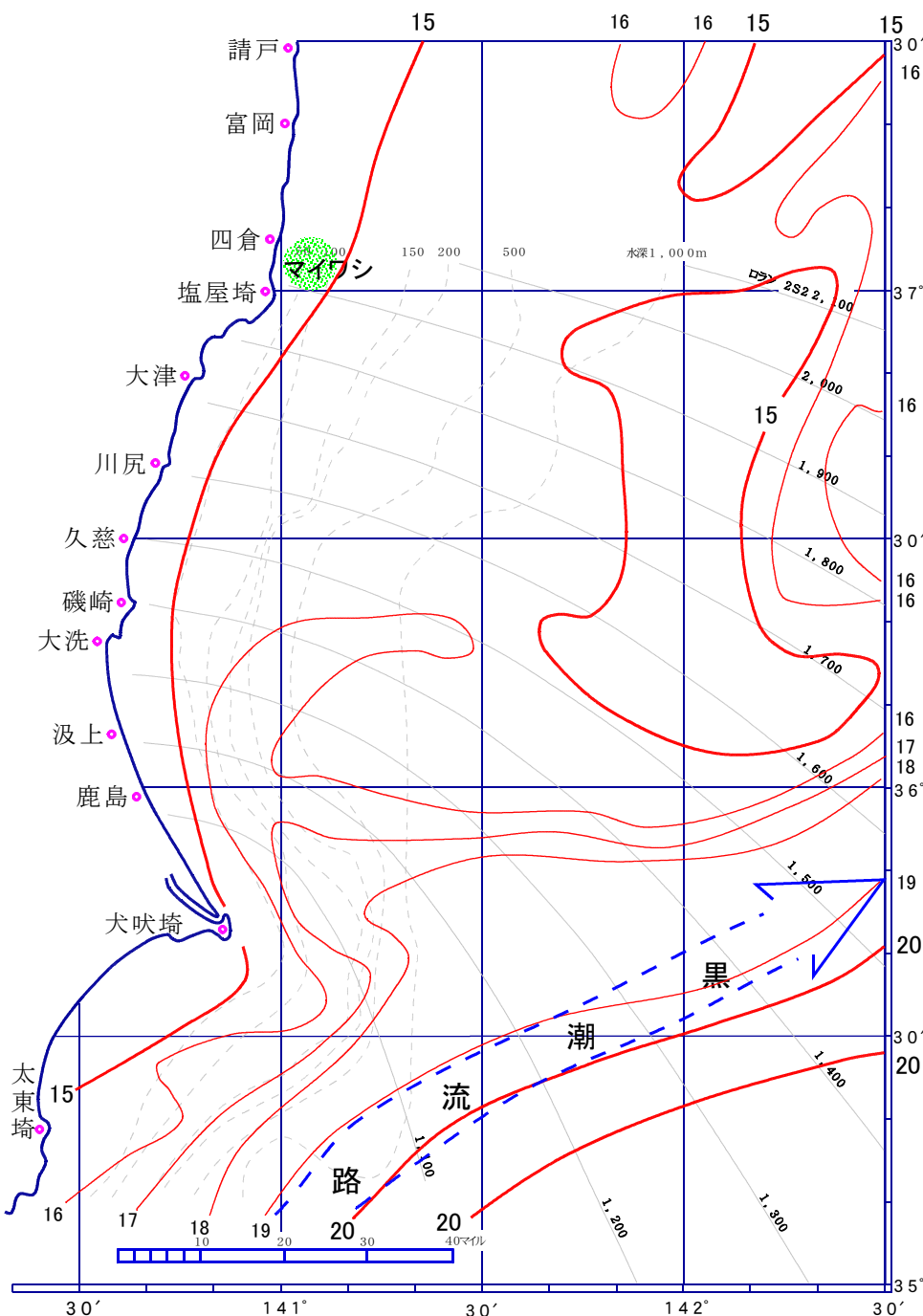
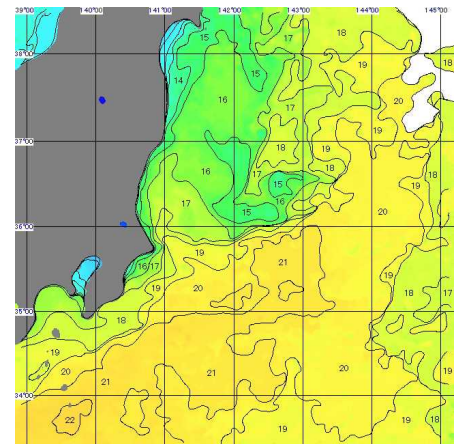
那珂湊定地水温 (°C)

日	年 令 7	令 6	平年
1/24	13.8	14.6	10.8
25	13.4	14.2	10.8
26	12.9	13.6	10.7
27	13.1	13.9	10.7
28	13.5	13.8	10.6
29	13.3	13.7	10.6
30	12.7	13.7	10.5
平均	13.2	13.9	10.7

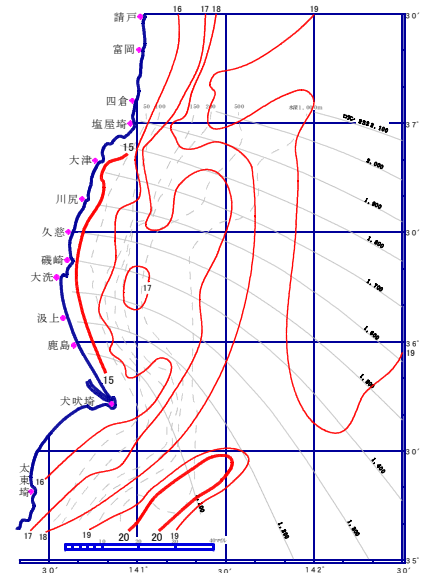
30年平均: 1991～2020年

令和7年1月24日～1月30日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和6年1月26日～2月1日

【海況図】

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東30マイル付近を東北東に流れ、
35° 50' N 142° 30' E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、14～17℃台の水温となっている。

漁況の特徴

6 - No. 4 3

属地、単位＝四捨五入

1/23～1/29

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
ヒラメ	小底5t以上 " " " " その他釣り " " " " 大型定置網	平 潟	1,566	470	736,171	
		大 津	1,872	321	600,635	
		川 尻	26	486	12,840	
		久 慈 町	5	893	4,020	
		那 珂 湊	393	994	390,973	
		平 潟	20	614	12,166	
		大 津	50	965	48,140	
		川 尻	89	1,465	130,850	
		久 慈 町	4	867	3,640	
		那 珂 湊	135	1,381	186,130	
会 瀬	6	1,612	9,512			
タイ類	小底5t以上 " " その他釣り 大型定置網	平 潟	760	585	444,499	
		大 津	615	263	161,472	
		那 珂 湊	1,814	536	972,395	
		大 津	20	350	7,000	
スズキ	小底5t以上 " " その他釣り	平 潟	188	233	43,638	
		大 津	310	136	42,272	
		那 珂 湊	318	384	121,941	
		久慈浜丸小	5	300	1,410	
那 珂 湊	7	415	2,781			
アナゴ	小底5t以上 " " " "	平 潟	344	578	198,870	
		大 津	333	520	173,300	
		川 尻	17	500	8,500	
		久 慈 町	16	463	7,400	
那 珂 湊	301	642	193,428			
アンコウ	小底5t以上 " " " "	平 潟	193	609	117,309	
		大 津	300	458	137,196	
		川 尻	71	386	27,300	
		久 慈 町	17	342	5,650	
那 珂 湊	151	782	118,468			
タラ類	小底5t以上	大 津	52	10	516	
ホウボウ	小底5t以上 " "	平 潟	404	744	300,842	
		大 津	434	331	143,964	
		那 珂 湊	129	659	84,904	
フグ類	小底5t以上 "	平 潟	23	2,690	62,943	
		那 珂 湊	20	1,275	24,870	
サワラ	小底5t以上 " その他釣り " " " " "	平 潟	4	1,280	4,480	
		大 津	6	750	4,500	
		平 潟	279	1,513	422,013	
		大 津	56	952	53,020	
		川 尻	23	1,239	28,000	
		久慈浜丸小	67	1,542	103,290	
		久 慈 町	45	1,563	70,490	
那 珂 湊	163	1,429	232,438			
スルメイカ	小底5t以上 " " " "	平 潟	6	757	4,540	
		大 津	120	594	71,265	
		川 尻	149	676	100,580	
		久 慈 町	68	983	67,060	
那 珂 湊	32	1,304	42,125			
ヤリイカ	小底5t以上 " " " "	平 潟	85	650	55,250	
		大 津	(100)	3,003	(山売) 301,500	
		川 尻	1,300	1,148	1,492,455	
		久 慈 町	1,056	1,135	1,198,150	
那 珂 湊	537	1,169	627,233			
マダコ	小底5t以上 " " " その他釣り タコ壺	平 潟	125	962	119,795	
		大 津	238	711	169,020	
		那 珂 湊	271	1,061	287,960	
		は さ き	237	1,414	335,415	
		平 潟	17	886	14,793	
は さ き	774	1,403	1,084,800			
マアジ	小底5t以上 " " " " 大型定置網	平 潟	14	360	5,003	
		大 津	13	322	4,220	
		川 尻	21	100	2,070	
		久 慈 町	16	155	2,520	
		那 珂 湊	98	490	48,159	
会 瀬	1,550	123	190,234			
サバ	小底5t以上	川 尻	24	140	3,400	
ブリ類	小底5t以上 " その他釣り "	平 潟	7	207	1,513	
		那 珂 湊	37	630	23,305	
		平 潟	9	189	1,773	
那 珂 湊	24	484	11,820			
マイワシ	まき網	は さ き	1,664,640	48	79,792,977	

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・塩屋崎の東北東5マイル付近
で20～380トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇手釣り

平潟地先でサワラ5～10kgの漁獲。

◇曳釣り

久慈浜地先から銚田地先でヒラメ1～
40kg、サワラ2～5kg、イナダ1～10kg、
タチウオ1～10kg、那珂湊地先でメジ
10～20kgの漁獲。

◇タコツボ

鹿島地先でマダコ91～317kg、波崎地
先でマダコ45～318kgの漁獲。

注 延隻数・銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

水産の窓

底魚資源調査（冬季）を実施しました

水産試験場では、本県沖の主要な底魚類の資源動向を把握するため、H15年から調査船いばらき丸（179t）により年2回（夏季、冬季）の着底トロール調査（オッタートロール）を実施しています。本調査では、本県沖の水深75～450mまでの海域、合計29定点において、15～30分間（速力3～4ノット）網を曳き、面積密度法により本県海域の現存量を推定しています。今回はR6年11～12月に実施した冬季調査結果についてお知らせします。

なお、今回は調査船ドックの都合により、例年よりも早い11～12月に調査を実施しました（例年は12～1月に実施）。

1 主要な底魚類の推定現存量の推移

H26年度から今年度までの推定現存量の推移を下表に示しました。また、参考として、県で資源評価を行っている魚種については資源水準（R6年3月時点）を示しました。

漁獲対象種の増減傾向を直近5年間の推移から判定した結果、増加傾向にあるのはユメカサゴ（のどぐろ）の1種、横ばい傾向にあるのはヤナギムシガレイ、ババガレイ（なめた）、マコガレイ（本まこ）、マガレイ（沖まこ）、ミギガレイ（にくもち）、ヤナギダコ（水だこ）、アオメエソ（めひかり）、マダラの8種、減少傾向にあるのはヒラメ、アカガレイ（赤がれい）、ムシガレイ、エゾイソアイナメ（どんこ）、アカムツ、キチジ（あかじ）、マアナゴ、マトウダイの8種でした。その他、漁獲対象とはなっていないトラザメ（ねこごめ）、テナガダラ（とうじん）は減少傾向でした。

昨年度と比較して、増加傾向の魚種数が減少し（6種→1種）、減少傾向の魚種数が増加しました（5種→8種）。今回の調査は例年と比べて約1か月前倒しで実施したため単純比較はできませんが、底魚類の資源状況には注視が必要です。特にヒラメについては、近年12月に入ってから底曳網による漁獲量が増加する傾向があることから、本調査では資源を正確に把握できていないと考えられます。水産試験場では引き続き持続的な資源利用に向けた取組を進めてまいります。

表 推定現存量の推移（冬季トロール調査）

		(単位:トン)													過去10年 平均
魚種/年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	傾向	水準※		
漁獲対象種	ヒラメ	389	466	310	261	221	247	181	156	253	253	2	減少	中位	274
	ヤナギムシガレイ	30	48	46	37	52	57	32	65	61	61	40	横ばい	中位	49
	ババガレイ(なめた)	33	73	25	32	39	10	20	16	38	38	4	横ばい	低位	32
	アカガレイ(赤がれい)	84	96	94	66	73	51	85	25	9	9	0	減少	—	59
	マコガレイ(本まこ)	5	6	46	26	25	31	3	6	6	6	3	横ばい	低位	16
	マガレイ(沖まこ)	26	13	13	5	6	8	0	0	0	0	0	横ばい	低位	7
	ムシガレイ	181	162	248	187	416	324	327	406	409	409	103	減少	高位	307
	ミギガレイ(にくもち)	26	36	26	56	24	52	41	17	48	48	28	横ばい	—	37
	ヤナギダコ(水だこ)	119	35	105	122	104	74	102	88	54	54	102	横ばい	低位	86
	アオメエソ(めひかり)	6	25	14	173	30	28	7	370	57	57	101	横ばい	高位	77
	エゾイソアイナメ(どんこ)	73	100	577	347	401	223	1,033	402	188	188	164	減少	—	353
	マダラ	1,104	401	156	68	63	22	7	7	6	6	5	横ばい	—	184
	アカムツ	5	16	1	3	2	3	1	36	14	14	3	減少	—	10
	ユメカサゴ(のどぐろ)	10	28	11	32	17	45	11	20	23	23	34	増加	高位	22
キチジ(あかじ)	25	3	117	102	71	119	72	38	27	27	14	減少	高位	60	
マアナゴ	54	126	36	80	60	59	42	145	20	20	24	減少	低位	64	
マトウダイ	29	31	17	20	86	76	47	30	38	38	19	減少	—	41	
参考	トラザメ(ねこごめ)	2,236	2,739	3,271	1,843	3,183	2,697	3,465	1,697	6,230	6,230	207	減少	—	3,359
	テナガダラ(とうじん)	1,177	501	1,154	3,046	3,588	1,582	2,727	2,190	2,340	2,340	637	減少	—	2,064

※:水準:「茨城県産重要魚種の生態と資源」令和6年3月公表の資源水準(令和7年3月更新予定)。—は未評価。

2 茨城県沖の水温の経年変化

近年、各地で海水温の上昇が報告されています。そこで、水産試験場で収集している海水温データをとりまとめました。

(1) 那珂湊定地水温 (図1)

水産試験場栽培技術センターの取水口に設置した水温計により測定した沿岸水温を集計し、年平均水温を求めました。その結果、長期的に水温が上昇しており、特に2023年、2024年は18°Cを超えました。2017年8月に始まった黒潮大蛇行や2022年秋季以降の黒潮続流の顕著な北偏、気温の上昇により高水温となっていると考えられました。

(2) いばらき丸海洋観測水温 (図2)

調査船いばらき丸により、毎月月上旬に実施している海洋観測調査で収集した東経141°以西の調査点における100m深水温を集計しました。こちらも那珂湊定地水温同様に、水温の上昇傾向が確認されました。

(3) いばらき丸底魚資源調査における底水温 (図3)

前述の1で示した底魚資源調査において、トロール網の網口に設置した漁網監視装置により収集した調査時の底水温を集計しました。水深75mにおいては水温上昇が認められましたが、水深100~450mでは明瞭な傾向は確認されませんでした。本調査は年によって調査月が異なるため単純な比較はできませんが、表層に比べると水温の変化は顕著でないと考えられました。

今後、水温と底魚類の漁獲量や分布の関係を調べてまいります。

(定着性資源部 多賀・綿引)

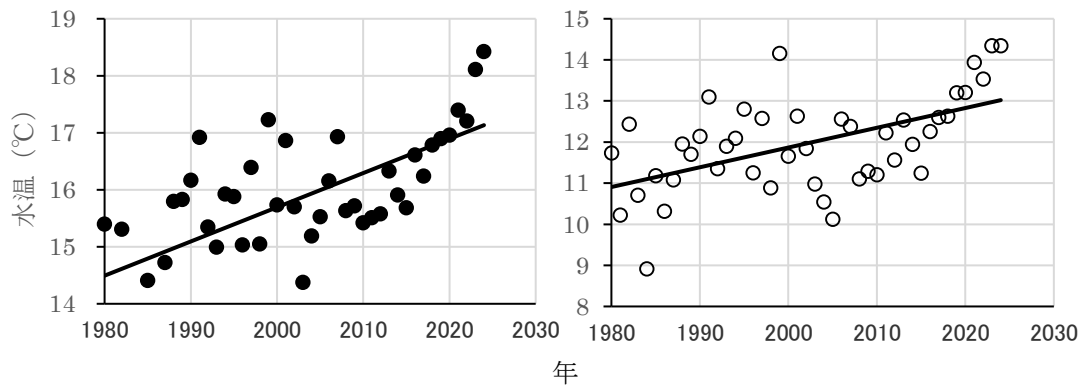


図1 那珂湊定地水温の年平均値

図2 海洋観測 100m 深水温の年平均値

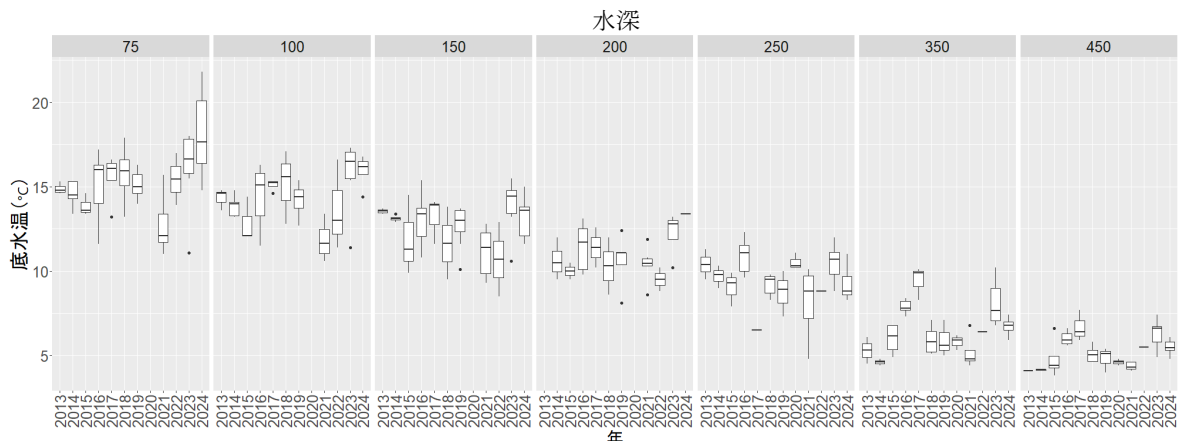


図3 底魚資源調査における水深別底水温